

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスCONOASU				公表日	令和7年 2月 6日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		法令を遵守したスペースを確保しています。	年齢に応じた、スペースの確保が出来るよう検討し、改善していきます。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		法令で定められている配置数に加え専門職員も配置し、5名体制で療育に取り組んでいます。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			段差が生じている箇所があるため、環境設定を整えていきます。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日、清掃、換気を実施し、過ごしやすい環境作りに努めています。		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			必要に応じて、個別のスペースを確保しています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		法令に合わせて年一回、事業所評価を実施し、業務改善につなげています。	法令に基づいたアンケートだけではなく、意見を汲み取れるよう体制作りを整えていきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			個別の面談、ミーティング等で職員間で意見交換、情報共有を出来る時間を増やしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		同法人の他事業所と、第三者評価の導入を検討していきます。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部研修を月に一回、外部研修へ参加し研修の機会を確保しています。		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムの作成、必要に応じて見直しを実施し、ホームページ、玄関に掲示しています。		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			今後も、ニーズ課題の把握を行い、サービス計画を作成していきます。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		各々のお子様に合わせて、職員、保護者様と情報共有を実施し、計画作成に努めています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		同意を得て作成した計画内容を職員間で共有しています。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		アセスメント内容・情報から、日々の利用時の様子から判断を行い、確認し共有しています。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		5領域を踏まえて、フィードバックから保護者様の要望も踏まえて、職員間で共有し、支援内容に活かしています。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員全員で話し合い、子どもたちが色々な体験が出来るよう工夫しています。		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節行事等も取り入れ、様々な経験が出来るように考え活動プログラムが固定化されないよう工夫しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		お子様、お一人お一人に合わせ個別活動、集団活動を組み合わせた計画の作成を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝、ミーティングを実施し、当日の流れ、活動内容、役割分担を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			支援終了後に実施することが難しい場合には、支援前ミーティングの時間の確保が出来るよう検討していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		業務日誌、支援提供記録に支援内容を記載しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを実施し、保護者様と児童の現状把握、振り返りを実施し見直しを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	2	4		地域交流の機会の提供を交えて、取り組んでいけるよう努めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			選択肢を自ら選べるよう、今後工夫していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			今後も出来る限り参画し、職員間での情報共有に努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			緊急時に備え、体制作りにも努めています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		保護者様を通じて、情報共有を実施しています。	必要に応じて、連絡調整を実施していきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	5		該当者がいる場合には、事業所間で情報共有を実施していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		該当者がいる場合には、情報提供を実施していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		今後、必要に応じて確保していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		今年度は、交流の機会は確保できませんでしたが、今後保護者様の意向も確認しながら、実施を検討しています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		都合が合う場合には、参加をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		保護者様迎え時、送り時に状況をお伝えしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			今後は、保護者様が参加出来る研修の機会の確保、子育てサポート、フィードバック等も実施していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に、保護者様と書面の読み合わせを実施し、説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			相談の場を設け、お子様の意思決定、保護者様のご意向を確認していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			説明の場を設け、同意を得た上で作成を心がけていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			今後も引き続き保護者様の悩み等に寄り添った支援が出来るよう努めています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		6	年に一回、親子参加型のイベントの場を設けています。	保護者様のご意向に配慮しながら、保護者様同士や職員との交流を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			苦情があった場合には、苦情解決責任者を主として、頂いたご意見は全職員へ周知し、迅速に対応するように致します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		HP、インスタグラム、通信を発行し、行事予定を公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の記載がある書類等は、鍵付きのキャビネットに保管しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		お子様の特性を把握し上で配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後は、事業所行事を検討し、地域住民を招待する等検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		全てのマニュアルを作成し、職員間、契約時に保護者様へ説明を実施しています。	今後は、保護者様が確認しやすいよう各種マニュアルを玄関等に掲示していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		業務継続計画を作成し、非常災害に備え定期的に避難、訓練を実施しています。	定期的に計画、見直しを実施し普段から災害に対応出来るよう訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に、保護者さまにアセスメントを実施し、情報把握に努めています。	今後も保護者様から情報を頂き、職員間で共有し、注意を払っていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	5	契約時に、保護者様から頂いたアレルギー調査票を基に対応しています。現在は該当者はおりません。	今後、保護者様から情報を頂き、医師の指示がある場合にも職員間で共有し、周知を徹底し注意をはらっていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画に定めた、研修や訓練を定期的実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		契約時に、安全計画について説明を実施しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットの事例が起こって場合には、ヒヤリハット報告書を作成・保管し職員間で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内で年に一回以上、職員研修を実施しています。虐待防止責任者においても、外部研修受講をしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1		身体拘束は原則実施しませんが、実施する場合には、ご家族に同意書を頂き説明致します。	